

ありがとうは魔法の言葉

シルボヌ全国大会

— IN TOKYO 2020 —

日時 2020(令和2)年11月25日(水)13:00開場 14:00～16:30(予定)

目的

2019(令和元)年、日本の高齢化率は28.4%となっています。超高齢社会、「人生100年時代」と言われる中で、元気な高齢者が、同世代・次世代を支えるとともに、地域社会を支えていくことが求められています。特に、高齢者人口の男女割合や就業率等からみて、女性のさらなる活躍が期待されています。

全国の1300を超えるシルバー人材センターでは、現在23万人以上の女性会員が元気に活躍しています。このシルボヌ全国大会を通じて、生涯現役を実現しているシルバー人材センターをより多くの方に知っていただき、一緒に輝いていただきたいと考えています。

※「シルボヌ(Silbonne)」は、「シルバー(silver)」と「ボヌ(Bonne)」(フランス語で女性の「お手伝い」「親切」「優れた」の意味)を合わせた造語です。

内容

ホール 14:00～16:30

来賓あいさつ
参議院議員(シルバー人材センター活性化議員連盟) 片山さつき氏
厚生労働省職業安定局高齢者雇用対策課長 五百旗頭(いおきべ)千奈美氏

第一部 基調講演 「人生100年時代をどう生きるか」
14:15～
～女性の元氣は社会の元氣～
津田塾大学客員教授 村木 厚子氏 ※プロフィールは裏面参照

第二部 パネルディスカッション
15:15～
「女性が生涯活躍できる社会を目指して」
～シルバー人材センター女性会員の活躍事例から～

○コーディネーター 奈良県SC協議会会長 宇田 秀子氏
○パネリスト 全シ協会長 金子 順一氏
焼津市SC(静岡県)事務局長 山本 朋美氏
角田市SC(宮城県)事務局長 佐藤久美子氏
鉾江市SC(東京都)事務局長 池田あけみ氏 ※SCはシルバー人材センターの略

大会アピール採択

ホワイエ 13:00～17:00

全国のシルバー人材センターの女性会員が、「独自事業*」として楽しみながら製作・販売している小物や展覧物などを展示・紹介します。

*「独自事業」
会員の就業機会を広げるため、地域の実情に応じて、会員自らの創意工夫により開発する事業。

カンファレンスルーム 13:00～17:00

全国のシルバー人材センターの女性会員が仕事や仕事以外のサークル活動などの様々な場面で活躍している姿を映像やパネルで紹介いたします。

講演者プロフィール

村木 厚子 津田塾大学 客員教授
Atsuko Muraki

1955年高知県生まれ、土佐高校、高知大学卒業。1978年労働省(現厚生労働省)入省。女性政策、障がい者政策などに携わる。2009年、郵便不正事件で有印公文書偽造等の罪に問われ、逮捕・起訴されるも、2010年無罪が確定。復職。2013年から2015年まで厚生労働事務次官。

退官後は津田塾大学客員教授を務めるほか、伊藤生商事(株)社外取締役などを務める。また、実行障害者を支援する共生社会を創るための基金や、生きづらさを抱える若年女性を支援する若草プロジェクトの活動に携わっている。

(著書)「日本型組織の病を治す」(角川新書)「あきらめない」(日経BP社)など

会場

コングレスクエア日本橋 3F 東京都中央区日本橋 1-3-13

会場案内

コングレスクエア日本橋 3階

ホール
ホワイエ
カンファレンスルームA

基調講演
パネルディスカッション
独自事業
製作品展示等
女性会員活躍事業
動画放映等

主催 公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会
Public Interest Incorporated Association, National Silver Human Resources Center Association
TEL 03-5665-8011 (付) FAX 03-5665-8021
Email zsk@sjc.ne.jp URL http://www.zsjc.or.jp

すみれサークル作品 出展の様子



会場(ホワイエ)の様子

開会あいさつ 宇田委員長



基調講演 村木 厚子 氏



来賓挨拶 片山さつき議員



大会アピール宣言



会場の様子は、ライブ配信され、コロナ禍で来場できない全国の皆さんに見てもらえました。

すみれサークルは、展示品を出展し来場者の皆さんの目をにぎわせました。

村木さんの講演は素晴らしく、元氣をもらうことができました。

会場の様子

